

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			医療法人明和会																	・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																	(様式第2号)	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を正面玄関壁に設置。当院の理念理解を周知している。								8	9									17																	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令順守を行い、正しい診療報酬請求を行うため周知、管理を実施している。																	16																		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		医療機関として公正な取引に取り組んでいる。価格交渉に関しては報告を受け見積書の確認及び適正価格にての取引、請求額に不備がないかをチェックする体制を構築している。										10						16																			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		院長を責任者とし病院活動が地域社会にどのような影響と貢献をもたらすか把握し患者が地域社会で生活できるようフォローをおこなっている。																16																			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		外部に発信するホームページやパンフレットに著作権の侵害がないことを確認して発信、掲示をおこなっている。								8.2 8.3	9							16																			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報に関しては守秘義務が課せられており特に注意している。カルテ持ち出しや、情報開示請求に対しては本人確認と目的を確認ししかるべき手続きを踏んで開示している。																16																			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		患者や家族等のコミュニケーションを重視し、適切な運営をしている。																16	17																		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	ハラスメント相談窓口を院内、院外に設置している。担当者の設置もおこなっている。関係機関のメンタルハラスメント対策相談も設置している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17																		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1				16	17																
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9									17																	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17																	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		院内外にハラスメント相談窓口を設置しており担当者も配置している。職員に向けては就業規則に記載しており周知を行っている。外部機関は社会保険労務士との連携を図っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7																		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働安全衛生委員会を月一回開催しており、産業医の参加もあるインシデントアクシデントは月1回の医療安全委員会で検討分析している。			3					8.8																											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		試用期間4カ月があるが同一賃金で支給している。パート職員に関しても常勤者の金額から時給計算している。賞与年2回は全員に支給している。パートは当院規程としている。					5.5			8.5		10.2 10.3																									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		育児休業復帰者の時短勤務を実施。介護休業、看護休業等も付与している。時間外労働は救急患者対応以外基本的におこなっていない。			3		5.5			8.5 8.8		10.3																									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		オンライン講習のアドレスやパスワードを全職員登録。空き時間に講習を受けることができるシステムを構築している。				4	5.5			8	9																										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年2回の健康診断、年1回のストレスチェックを実施している。産業医の連携もある。			3					8									17																		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		障がい者法に基づく雇用をしている。障がい者雇用部門への報告も実施している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7																			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	コロナ第5類移行後は集団研修も実施している。院内はマスク厳守で業務にあたっており、感染がないよう最新の注意をおこなっている。			3					8	9.1		11	12																							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	関係介護施設等のオンライン受診を実施している。								8	9.1		11	12																							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12																							

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			医療法人明和会	基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		診療で排出する感染性医療廃棄物は適正に分別処理するとともに減量化に向けて取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		全館LED化をおこない電気使用量の削減を実施している。またデマンド機器導入により電気使用量の把握と同時に削減を実施している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを使用して温室効果ガスの排出量を把握している。定期的なエアコン室外機の点検で機械故障のリスクをおさえ、フロンガスなどの温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		期限切れ薬品などが不法投棄されないよう在庫管理を厳密に実施している。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		医療行為により使用した資源の再利用は感染の問題があり不可能であるが、研修資料や個人情報などが記載されている資料は溶解処理をし、その他の資料は裏紙として再利用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		毎月の使用量の把握と水質検査を実施しており、高架水槽は年に1回検査清掃をおこなっている 院内においては自動水洗で節水を実施している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		院内で使用している感染性廃棄物容器をプラスチック製から紙製に変更している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	管理栄養士が治療食の研究をおこない、患者の食事摂取率を上げることにより食品廃棄の出ないメニュー作りを確立している、残菜の計量もおこない現状把握もできている。	1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	敷地内に患者が運動できる公園スペースを整備している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		医療機関として医療安全に関する委員会の設置や定期的な事例検討分析などを細かく行い医療の安全性の確保に細心の注意を払っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		医療機関の義務として年齢や障害の度合いを問わず医療行為をうけることができ、院内は完全バリアフリーとなっており転倒リスクの排除や環境整備に取り組んでいる。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		自治会には参加しており、地域の社会貢献活動や寄付その他講演会への派遣また社会福祉協議会との情報交換など細目に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		院内機関として防災委員会を設置している。消防署との連携、定期的な避難訓練また消防設備点検は年2回実施している。非常通報連絡訓練、防災マニュアルも設置している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	従業員や関連企業に対し、SDGsの普及啓発をおこなっている。院内においては関連資料の掲示なども実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17